

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立松山北高等学校中島分校

学校番号 23

評価実施日

平成30年2月9日(金)

委員	氏名	所属等	備考
	勝田 昇	元中島町教育委員会教育長	
	田口 栄子	福祉介護事業経営	
	山本 祥平	自営業(農業)、元中島町消防団長	
	若田 益業	松山市立中島中学校長	
	川崎 勇治	P T A会長	

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

## 1 平成29年度「数値目標」達成状況について

- (1) 進学及び就職の目標達成率100%  
昨年に続き今年度も、全ての生徒が進路実現を果たしており、進学においては国公立大学の合格者(2名)をはじめ、生徒の希望に応じた進路を実現できている。また、就職においても全員が早い時期に決定しており、きめ細かな指導の成果であると考えます。
- (2) 年間出席率95%以上  
生徒の自己評価結果から、出席状況が、もう少し好転するよう願っている。2年生は、85.9%、3年生は94.9%の出席率であった。しかし、本校の入学生は、約7割以上の生徒が中学時代不登校傾向にあり、成長していると言えると思う。
- (3) 家庭学習1日2時間以上  
全体では2.0時間であり目標を達成している。しかし、1・2年生が1.9時間であり、2時間を切った。学習習慣を身に付けることが重要で、個に応じた指導の仕方を工夫してほしい。しかし、通学の船内では勉強する姿をよく見かける。地域の評判も良い。これまで、国公立大学に2名の合格者が出たことは特筆できる。
- (4) 全商検定の2年生3級、3年生2級以上の取得率80%以上  
2・3年生とも100パーセントで目標の達成ができており、成果が上がった。ただ、今年度は、三種目1級に合格した生徒がおらず、今後更に努力を続けてほしい。
- (5) 地域での奉仕活動年間8回以上  
校内の活動を除いても年間14回の奉仕活動を実施しており、地域の活性化のためにも大変ありがたい取組ができている。

・少人数のメリットを生かし、生徒一人一人に寄り添った進路指導を実践することにより、昨年に続き高い進路決定率を実現することができた。今後は、更に丁寧な進路指導を計画し、生徒の勤労観や職業観を育成し、進路実現を図っていききたい。

・1年生を中心に生徒一人ひとりの様子をしっかりと観察し、小さな兆候を見逃さず、個を大切にしている生徒指導を心掛けていきたい。  
・お互いを思いやる雰囲気や全員で助け合いながら生活をする伝統を、今後とも継承しながら一層安心できる居場所作りのために努力したい。

・中学校時代の学び直しを含め、基礎、基本の定着を図るとともに、国公立大学への進学も可能にする個々の生徒に応じた学習指導をするために、個別指導や習熟度学習を取り入れるなど、さらなる授業改善に取り組んでいきたい。また、効果的な課題の出し方や教材を工夫することで、学習に対する意欲と態度の育成に努めたい。

・資格試験や検定試験の合格を目指し、引き続き指導の工夫と改善に努めたい。  
昨年より目標を改善し、より上級を目指す体制作りを行いたい。今後、更に目標を高く設定していききたい。

・地域に密着し、慕われ必要とされる学校であり続けるためにも、今後も継続して積極的にボランティア活動を実践していききたい。

## 2 今年度の最終評価について

ボランティア活動等、非常によく頑張っている。松山から通学している生徒のフェリーでの通学マナーもとても良いと評価が高い。松山市や中島地域における中島分校の存在価値は高く、今後とも、地域唯一の高等学校として、存続を図ってほしい。

・中島分校は、中島地域や、松山市において重要な存在価値のある全日制高等学校である。今後とも教職員が一丸となって連携し、中学校訪問やホームページによる情報発信等を積極的に行い、中島分校の特色や存在価値をアピールし、今後ともたくさんの生徒が中島分校に入学してくれるよう努力していききたい。